



1月8日(日)、15日(日)、22日(日)、3学年の学校設定科目「コミュニティデザイン演習」では「My Project Award 2022 (全国高校生マイプロジェクトアワード) 地域 Summit」(以下マイプロ)にオンラインで出場しました。マイプロジェクトアワードは、多様な参加者(高校生・サポーター※・観覧など)が、「学び続けながら自分と社会の未来をつくりだす」プロセスを共に応援しあい、かつそのプロセスを進めるヒントを手にする場で、参加者との対話・やりとりの中で、新たな気付きや観点を獲得する機会にしていくもので、プロジェクトの成果、プランの壮大さを比べるのではなく、アクションした自分たちだけが学んだドラマを語り、今後に向けて深めたいことを共有していくものになります。

この大会の流れは、同サイトからエントリーし、書類選考を通過すると、地域 Summit に出場でき、参加後に動画を提出して、全国 Summit のファイナリストの48プロジェクトに選ばれ、最高賞の文部科学大臣賞を目指すという大会になります。また、地域 Summit では発表10分・対話10分の時間でサポーターや参加高校生も含めたセッションを行いました。今年度、千早高校では6チームと個人1人がエントリーをして全員が書類選考を通過して地域 Summit に出場できました。また、個人の1人は8月から留学中で海外からの出場となりました。生徒たちは Zoom 越しですが、久々に顔を合わせることができた同級生と画面越しにお互い手を振るなど再開を喜んでいました。

※サポーター (アワード内で高校生の学びを深めるため対話をする大人)

